

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限（2003年1月14日設定）
運用方針	主としてA格相当以上の格付を有するユーロ参加国の国債、政府保証債および政府機関債に分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。 運用にあたりましては、シティEMU国債インデックス（円換算ベース）をベンチマークとし、ポートフォリオの加重平均デュレーションを2年以上8年以内とした運用を行います。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	ユーロ参加国の公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、経費等を控除後の利子等収益等を中心に、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ ユーロボンド ファンド（毎月分配型）

愛称：夢満債（ユーロコース）

第156期（決算日：2016年2月9日）

第157期（決算日：2016年3月9日）

第158期（決算日：2016年4月11日）

第159期（決算日：2016年5月9日）

第160期（決算日：2016年6月9日）

第161期（決算日：2016年7月11日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「三菱UFJ ユーロボンドファンド（毎月分配型）〔愛称：夢満債（ユーロコース）〕」は、去る7月11日に第161期の決算を行いましたので、法令に基づいて第156期～第161期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目 12 番 1 号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034
 (9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆目次

三菱UFJユーロボンドファンド（毎月分配型）のご報告

◇最近30期の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	7
◇1万口当たりの費用明細	8
◇売買及び取引の状況	9
◇利害関係人との取引状況等	9
◇組入資産の明細	9
◇投資信託財産の構成	10
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	11
◇損益の状況	12
◇分配金のお知らせ	13
◇お知らせ	13

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決算期	基 (分配落)	準 価 額			シティEMU国債インデックス		債 組 入 比 率	券 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分 配	込 み 金	期 騰 落	中 率	期 騰 落			
	円		円		%	(円換算ベース)			百万円
132期(2014年2月10日)	10,413		25	△0.1		27,960.32	△0.2	95.2	248
133期(2014年3月10日)	10,680		25	2.8		28,904.36	3.4	96.6	251
134期(2014年4月9日)	10,532		25	△1.2		28,609.27	△1.0	95.4	250
135期(2014年5月9日)	10,618		25	1.1		28,999.79	1.4	96.5	252
136期(2014年6月9日)	10,659		25	0.6		29,165.22	0.6	96.8	252
137期(2014年7月9日)	10,594		25	△0.4		28,988.38	△0.6	97.7	250
138期(2014年8月11日)	10,568		25	△0.0		29,019.47	0.1	97.3	250
139期(2014年9月9日)	10,683		25	1.3		29,451.94	1.5	97.6	252
140期(2014年10月9日)	10,752		25	0.9		29,752.81	1.0	97.2	253
141期(2014年11月10日)	11,110		25	3.6		30,759.16	3.4	98.2	251
142期(2014年12月9日)	11,716		25	5.7		32,676.71	6.2	96.1	258
143期(2015年1月9日)	11,186		25	△4.3		31,408.34	△3.9	98.0	241
144期(2015年2月9日)	10,741		25	△3.8		30,457.35	△3.0	97.1	229
145期(2015年3月9日)	10,479		25	△2.2		29,859.83	△2.0	97.0	222
146期(2015年4月9日)	10,462		25	0.1		29,939.04	0.3	97.6	218
147期(2015年5月11日)	10,473		25	0.3		30,063.11	0.4	97.5	215
148期(2015年6月9日)	10,669		25	2.1		30,751.00	2.3	96.9	219
149期(2015年7月9日)	10,184		25	△4.3		29,373.22	△4.5	98.2	207
150期(2015年8月10日)	10,494		25	3.3		30,380.03	3.4	97.9	210
151期(2015年9月9日)	10,310		25	△1.5		29,927.23	△1.5	98.0	203
152期(2015年10月9日)	10,428		25	1.4		30,391.79	1.6	97.6	200
153期(2015年11月9日)	10,122		25	△2.7		29,600.10	△2.6	97.9	193
154期(2015年12月9日)	10,300		25	2.0		30,280.29	2.3	97.2	195
155期(2016年1月12日)	9,819		25	△4.4		28,871.22	△4.7	97.7	178
156期(2016年2月9日)	10,089		25	3.0		29,627.36	2.6	96.7	178
157期(2016年3月9日)	9,695		15	△3.8		28,555.65	△3.6	96.7	165
158期(2016年4月11日)	9,704		15	0.2		28,707.20	0.5	97.6	162
159期(2016年5月9日)	9,555		15	△1.4		28,329.05	△1.3	97.6	160
160期(2016年6月9日)	9,567		15	0.3		28,495.16	0.6	97.6	158
161期(2016年7月11日)	8,918		15	△6.6		26,622.60	△6.6	98.0	143

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) シティEMU国債インデックスは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、EMU（経済通貨同盟）参加国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。シティEMU国債インデックス（円換算ベース）とは、シティEMU国債インデックスをもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		シティEMU国債インデックス		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		円	騰 落 率	(円換算ベース)	騰 落 率		
第156期	(期 首) 2016年1月12日	9,819	—	28,871.22	—	97.7	—
	1月末	10,256	4.5	30,187.44	4.6	97.7	—
	(期 末) 2016年2月9日	10,114	3.0	29,627.36	2.6	96.7	—
第157期	(期 首) 2016年2月9日	10,089	—	29,627.36	—	96.7	—
	2月末	9,745	△3.4	28,668.47	△3.2	97.2	—
	(期 末) 2016年3月9日	9,710	△3.8	28,555.65	△3.6	96.7	—
第158期	(期 首) 2016年3月9日	9,695	—	28,555.65	—	96.7	—
	3月末	10,049	3.7	29,739.26	4.1	96.8	—
	(期 末) 2016年4月11日	9,719	0.2	28,707.20	0.5	97.6	—
第159期	(期 首) 2016年4月11日	9,704	—	28,707.20	—	97.6	—
	4月末	9,640	△0.7	28,561.53	△0.5	97.5	—
	(期 末) 2016年5月9日	9,570	△1.4	28,329.05	△1.3	97.6	—
第160期	(期 首) 2016年5月9日	9,555	—	28,329.05	—	97.6	—
	5月末	9,684	1.4	28,772.95	1.6	98.4	—
	(期 末) 2016年6月9日	9,582	0.3	28,495.16	0.6	97.6	—
第161期	(期 首) 2016年6月9日	9,567	—	28,495.16	—	97.6	—
	6月末	9,108	△4.8	27,174.58	△4.6	97.5	—
	(期 末) 2016年7月11日	8,933	△6.6	26,622.60	△6.6	98.0	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について（第156期～第161期：2016/1/13～2016/7/11）

基準価額の動き	基準価額は当作成期首に比べ8.2%（分配金再投資ベース）の下落となりました。
ベンチマークとの差異	ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（-7.8%）を0.4%下回りました。



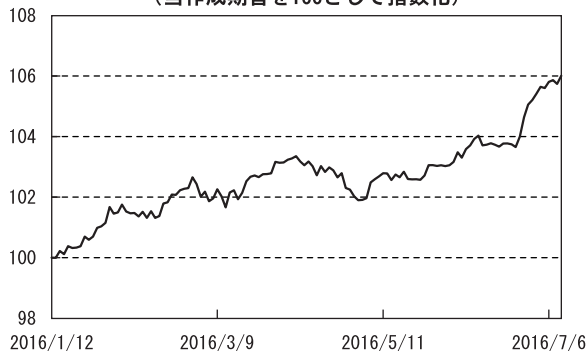
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

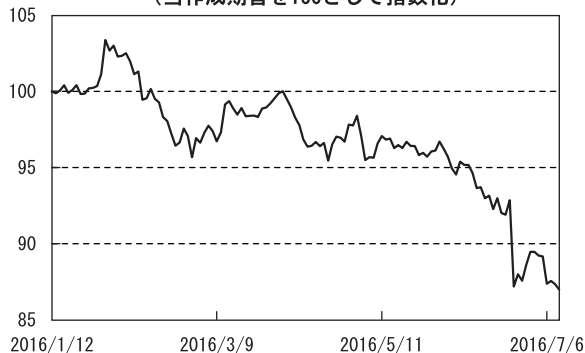
上昇要因	欧州金利が低下（債券価格は上昇）したことなどが基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	ユーロが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

（第156期～第161期：2016/1/13～2016/7/11）

債券市況の推移
（当作成期首を100として指数化）

—シティEMU国債インデックス(Local)

為替市況の推移
（当作成期首を100として指数化）

—為替レート(円・ユーロ)

◎債券市況

・作成期首から2016年2月下旬にかけて、世界的に株式市況が軟調に推移したことや1月下旬に開催されたECB（欧州中央銀行）理事会後の記者会見でドラギ総裁が3月の理事会で金融政策の緩和を検討すると示唆したことなどから、欧州長期金利は低下しました。その後は、米国の金融正常化の動きが緩やかなペースとなるとの見方や、商品市況が底入れしたことなどを背景に、欧州長期金利はもみ合いで推移しましたが、6月上旬に発表された5月分の米国雇用統計において非農業部門雇用者数の伸びが市場予想を大きく下回ったことや6月下旬の英国のEU（欧州連合）離脱を巡る国民投票で離脱派が勝利したことで景気の先行き不透明感が高まったことなどから、欧州長期金利は大きく低下しました。

◎為替市況

・円・ユーロ相場は、2016年1月末に日銀が金融政策決定会合でマイナス金利の導入を決定し一時的に円安が進んだものの、2月下旬にかけて日銀のさらなる追加金融緩和見通しの不透明感や世界的に軟調な株式市況などから円が主要通貨に対して買われる展開となりました。その後、底堅い商品市況などを背景にユーロは対円で概ね横ばいで推移していましたが、英国の国民投票の結果を受けて、円が主要通貨に対して大きく買われる中、ユーロは対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

◎組入比率

- ・ 当作成期を通じて債券現物の高位組み入れを維持しました。

◎デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

- ・ 債券デュレーションについては、ECBによる金融緩和策で選好されやすいと判断した中長期ゾーンを中心に組み入れ、当作成期首から7月初めにかけてベンチマーク比中立から長めでコントロールしましたが、ポートフォリオの加重平均デュレーションを当ファンドの上限である8年以内でコントロールするため、デュレーションについては作成期末にかけてベンチマーク比長めから短めに変更しました。
なお、ベンチマークのデュレーションが当作成期間中に大幅に伸びたため、当作成期末のファンドのデュレーションは当作成期首と比較して伸びました。

◎国別構成比率

- ・ 相対的に金利水準が高いアイルランド、ベルギー、フランスの国債を中心とした組入比率としました。
- ・ 欧州金利は低下したものの、ユーロが対円で下落したことなどから、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

（ご参考）

利回り・デュレーション

作成期首（2016年1月12日）

最終利回り	0.5%
直接利回り	2.5%
デュレーション	7.0年



作成期末（2016年7月11日）

最終利回り	-0.1%
直接利回り	2.0%
デュレーション	7.3年

- ・ 数値は債券現物部分で計算しております。
- ・ 最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・ 直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・ 利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・ デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・ デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。

（ご参考）

債券の格付分布

作成期首（2016年1月12日）

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	24.5%	2
AA格	48.9%	3
A格	0.0%	0
BBB格	24.4%	2
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

作成期末（2016年7月11日）

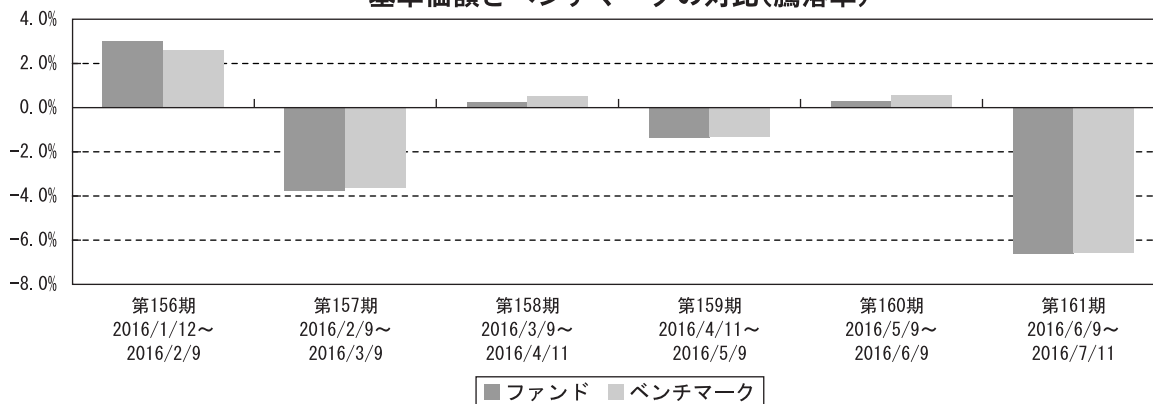
格付種類	比率	銘柄数
AAA格	23.6%	2
AA格	49.1%	4
A格	25.3%	1
BBB格	0.0%	0
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0



- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付の振分基準は、以下の通りです。
 - ・AAA格（AAA、Aaa）
 - ・AA格（AA+、AA、AA-、Aa1、Aa2、Aa3）
 - ・A格（A+、A、A-、A1、A2、A3）
 - ・BBB格（BBB+、BBB、BBB-、Baa1、Baa2、Baa3）
 - ・BB格（BB+、BB、BB-、Ba1、Ba2、Ba3）
- ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付（国の発行体格付）を採用しているものがあります。
- ・格付分布はS&P社、Moody's社のうち最も低い格付を表示しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について（第156期～第161期：2016/1/13～2016/7/11）

基準価額とベンチマークの対比(騰落率)



- ・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

- ・ 当作成期の基準価額騰落率は、分配金再投資ベースで8.2%の下落となり、ベンチマークであるシティEMU国債インデックス（円換算ベース）の7.8%の下落を0.4%下回りました。騰落率がベンチマークを下回った主な要因は次の通りです。

（マイナス要因）

- ・ 2016年2月中旬から3月下旬および6月下旬から当作成期末にかけてのイタリアとスペイン国債の利回りが低下し、かつ対ドイツ国債とのスプレッド（利回り格差）が縮小した時に、同国債を非保有としていたことがマイナス要因となりました。

※イタリア国債およびスペイン国債については、当ファンドで定めているA格相当以上の格付基準に抵触しているため、当作成期間中、非保有としていました。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
	2016年1月13日～ 2016年2月9日	2016年2月10日～ 2016年3月9日	2016年3月10日～ 2016年4月11日	2016年4月12日～ 2016年5月9日	2016年5月10日～ 2016年6月9日	2016年6月10日～ 2016年7月11日
当期分配金	25	15	15	15	15	15
（対基準価額比率）	0.247%	0.154%	0.154%	0.157%	0.157%	0.168%
当期の収益	19	9	12	5	11	7
当期の収益以外	5	5	2	9	3	7
翌期繰越分配対象額	2,587	2,581	2,579	2,570	2,566	2,560

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・ 欧州長期金利は低下余地を探る展開が想定されます。足下のユーロ圏の景況感は底堅く推移しているものの、インフレ率が低位で推移していることや、英国の国民投票の結果を受けて欧州に不透明感が高まっていることなどからECBは金融緩和姿勢を維持すると見えています。

◎今後の運用方針

- ・ かかる環境下、デュレーションは7年から8年の間を基本に調整する方針です。ユーロ圏の国別投資比率は現行の方針を基本に、必要に応じて調整します。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2016年 1 月13日～2016年 7 月11日）

項 目	第156期～第161期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	55	0.561	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
（ 投 信 会 社 ）	(21)	(0.214)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(31)	(0.320)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.040	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(4)	(0.038)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	59	0.601	
作成期中の平均基準価額は、9,747円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年1月13日～2016年7月11日)

公社債

			第156期～第161期		
			買付額	売付額	
外国	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ	
		ドイツ	国債証券	1,178	1,227
		フランス	国債証券	826	880
		オランダ	国債証券	212	218
		ベルギー	国債証券	423	454
		アイルランド	国債証券	336	355

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2016年1月13日～2016年7月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2016年7月11日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	額面金額 千ユーロ	第161期末						
		評価額		組入比率 %	うちBB格以下 組入比率 %	残存期間別組入比率		
		外貨建金額 千ユーロ	邦貨換算金額 千円			5年以上 %	2年以上 %	2年未満 %
ドイツ	200	233	26,022	18.1	—	18.1	—	—
フランス	240	309	34,474	24.0	—	24.0	—	—
オランダ	60	70	7,891	5.5	—	5.5	—	—
ベルギー	290	323	36,021	25.1	—	25.1	—	—
アイルランド	260	327	36,373	25.3	—	25.3	—	—
合計	1,050	1,265	140,783	98.0	—	98.0	—	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			第161期末				償還年月日
			利率	額面金額	評価額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	国債証券	1.75 BUND 240215	1.75	200	233	26,022	2024/2/15
フランス	国債証券	2.25 O. A. T 240525	2.25	190	226	25,203	2024/5/25
		5.5 O. A. T 290425	5.5	50	83	9,270	2029/4/25
オランダ	国債証券	2 NETH GOVT 240715	2.0	60	70	7,891	2024/7/15
ベルギー	国債証券	0.8 BEL GOVT 250622	0.8	200	214	23,809	2025/6/22
		2.6 BEL GOVT 240622	2.6	90	109	12,211	2024/6/22
アイルランド	国債証券	3.9 IRISH GOVT 230320	3.9	260	327	36,373	2023/3/20
合 計						140,783	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2016年7月11日現在)

項 目	第161期末	
	評価額	比率
公社債	千円 140,783	% 97.8
コール・ローン等、その他	3,235	2.2
投資信託財産総額	144,018	100.0

(注) 作成期末における外貨建純資産（142,799千円）の投資信託財産総額（144,018千円）に対する比率は99.2%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1ユーロ=111.22円			
--------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第156期末	第157期末	第158期末	第159期末	第160期末	第161期末
	2016年2月9日現在	2016年3月9日現在	2016年4月11日現在	2016年5月9日現在	2016年6月9日現在	2016年7月11日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	178,980,757	166,386,165	163,799,435	160,419,346	159,379,245	144,018,699
コール・ローン等	3,630,264	3,385,213	3,617,060	2,661,327	1,671,752	2,360,324
公社債(評価額)	172,440,104	160,432,886	158,571,078	156,253,968	155,182,397	140,783,110
未収入金	—	—	—	—	1,452,421	55,463
未収利息	2,358,916	2,078,266	583,886	512,946	694,467	374,789
前払費用	407,974	335,179	861,797	813,025	355,588	411,223
その他未収収益	143,499	154,621	165,614	178,080	22,620	33,790
(B) 負債	598,010	410,963	1,328,618	392,193	404,363	390,148
未払収益分配金	442,039	256,802	251,140	251,216	249,242	241,579
未払解約金	—	—	904,338	—	—	—
未払信託報酬	155,357	153,558	172,463	140,419	154,515	147,990
未払利息	—	—	—	1	1	1
その他未払費用	614	603	677	557	605	578
(C) 純資産総額(A－B)	178,382,747	165,975,202	162,470,817	160,027,153	158,974,882	143,628,551
元本	176,815,602	171,201,434	167,426,982	167,477,881	166,161,984	161,052,814
次期繰越損益金	1,567,145	△ 5,226,232	△ 4,956,165	△ 7,450,728	△ 7,187,102	△ 17,424,263
(D) 受益権総口数	176,815,602口	171,201,434口	167,426,982口	167,477,881口	166,161,984口	161,052,814口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,089円	9,695円	9,704円	9,555円	9,567円	8,918円

○損益の状況

項 目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
	2016年1月13日～ 2016年2月9日	2016年2月10日～ 2016年3月9日	2016年3月10日～ 2016年4月11日	2016年4月12日～ 2016年5月9日	2016年5月10日～ 2016年6月9日	2016年6月10日～ 2016年7月11日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	350,152	310,126	311,569	239,940	260,339	291,400
受取利息	337,604	301,292	305,072	227,497	250,864	225,832
その他収益金	12,548	8,834	6,497	12,466	9,487	65,615
支払利息	—	—	—	△ 23	△ 12	△ 47
(B) 有価証券売買損益	5,026,383	△ 6,639,671	277,742	△ 2,340,692	366,623	△ 10,334,210
売買益	5,074,230	967,386	1,029,864	—	1,163,164	2,836,239
売買損	△ 47,847	△ 7,607,057	△ 752,122	△ 2,340,692	△ 796,541	△ 13,170,449
(C) 信託報酬等	△ 178,401	△ 155,555	△ 186,384	△ 140,976	△ 174,009	△ 165,054
(D) 当期損益金(A+B+C)	5,208,134	△ 6,485,100	402,927	△ 2,241,728	452,953	△ 10,207,864
(E) 前期繰越損益金	△ 14,827,443	△ 9,703,806	△ 16,078,498	△ 15,926,711	△ 18,268,177	△ 17,451,227
(F) 追加信託差損益金	11,628,493	11,219,476	10,970,546	10,968,927	10,877,364	10,476,407
(配当等相当額)	(29,901,696)	(29,003,934)	(28,366,219)	(28,379,373)	(28,160,901)	(27,337,542)
(売買損益相当額)	(△ 18,273,203)	(△ 17,784,458)	(△ 17,395,673)	(△ 17,410,446)	(△ 17,283,537)	(△ 16,861,135)
(G) 計(D+E+F)	2,009,184	△ 4,969,430	△ 4,705,025	△ 7,199,512	△ 6,937,860	△ 17,182,684
(H) 収益分配金	△ 442,039	△ 256,802	△ 251,140	△ 251,216	△ 249,242	△ 241,579
次期繰越損益金(G+H)	1,567,145	△ 5,226,232	△ 4,956,165	△ 7,450,728	△ 7,187,102	△ 17,424,263
追加信託差損益金	11,628,493	11,219,476	10,970,546	10,968,927	10,877,364	10,476,407
(配当等相当額)	(29,901,696)	(29,003,934)	(28,366,219)	(28,379,373)	(28,160,901)	(27,337,542)
(売買損益相当額)	(△ 18,273,203)	(△ 17,784,458)	(△ 17,395,673)	(△ 17,410,446)	(△ 17,283,537)	(△ 16,861,135)
分配準備積立金	15,848,080	15,196,633	14,824,474	14,672,222	14,492,423	13,894,038
繰越損益金	△ 25,909,428	△ 31,642,341	△ 30,751,185	△ 33,091,877	△ 32,556,889	△ 41,794,708

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

①作成期首（前作成期末）元本額 181,465,322円

 作成期中追加設定元本額 1,322,975円

 作成期中一部解約元本額 21,735,483円

 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.8918円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は17,424,263円です。

③分配金の計算過程

項 目	2016年1月13日～ 2016年2月9日	2016年2月10日～ 2016年3月9日	2016年3月10日～ 2016年4月11日	2016年4月12日～ 2016年5月9日	2016年5月10日～ 2016年6月9日	2016年6月10日～ 2016年7月11日
費用控除後の配当等収益額	339,189円	154,571円	213,028円	98,964円	188,090円	126,346円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	29,901,696円	29,003,934円	28,366,219円	28,379,373円	28,160,901円	27,337,542円
分配準備積立金額	15,950,930円	15,298,864円	14,862,586円	14,824,474円	14,553,575円	14,009,271円
当ファンドの分配対象収益額	46,191,815円	44,457,369円	43,441,833円	43,302,811円	42,902,566円	41,473,159円
1万口当たり収益分配対象額	2,612円	2,596円	2,594円	2,585円	2,581円	2,575円
1万口当たり分配金額	25円	15円	15円	15円	15円	15円
収益分配金金額	442,039円	256,802円	251,140円	251,216円	249,242円	241,579円

○分配金のお知らせ

	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
1 万口当たり分配金（税込み）	25円	15円	15円	15円	15円	15円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<http://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。